

## 審査を終えて

とてつもない困難な時代と誰もが感じているのに何を言い出すのかとしかられ  
 そうなのだが、明るさ“光”が太平洋に面し茫漠と広がるこの市に対する僕の印  
 象である。実際、嶺崎茂子氏“Shiny wind”のモノトーンの美しい階調の作品  
 をはじめいくつもの光をモチーフとした秀作が見受けられた。

こんな風を感じるのも私ごとで恐縮なのだが、先週-14℃という極寒の札幌に  
 あるライブハウスでピアノの板橋文夫氏、パーカッションのヤヒロトモヒロ氏と  
 セッションをしていたせいなのかも知れない。彼等のずばぬけたインプロヴィゼー  
 ションにインスパイアされ130号大、80号大をはじめとする何枚ものドローイ  
 ングを時空の空白に投げ出したのだった。

今回第一位に押した、まさに熱気そのものといった風情の大原直也氏の作品タ  
 イトルを審査を終えて確認して驚いた。何と“インスパイア”。まさにこの作品  
 は僕とこの場で共時的に響き合っていたにちがいない。

上位入賞者の作品が並んだ若々しく活気に満ちた壁は、札幌からいわきへと僕  
 自身の時間の流れと見事に重なった。

それにしても未熟、未分化ながら、かなりの魅力的な作品を選外にしたのは心  
 苦しいものがあつた。主催者側に一考を願いたい。

2001年2月23日

審査員 小林裕児

(青山学院女子短期大学講師・春陽会会員)

## 第30回

## 絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	インスパイア	大原直也	平上荒川
いわき市議会議長賞	Shiny wind	嶺崎茂子	小名浜岡小名
いわき市教育委員会 教育委員長賞	漁港の記憶	柳内憲治	江名
《佳 作》			
いわき商工会議所 会頭賞	T O M O M I	片石妙子	江名
いわき市文化団体 連絡協議会会長賞	大きな樹のある公園風景	湖月健太郎	久之浜町田之網
福島県報徳社賞	[mai speisu]	増田有美	双葉郡富岡町
〃	作品2001-S	鷺 邦 明	錦町
〃	天空への誘い	江尻敏昭	郷ヶ丘
美術館友の会賞	想	米倉昭一	好間町上好間
有限会社トーカイ賞	BIRTH III「誕生」	須田留一	四倉町上仁井田
株式会社箱崎美術 広告社賞	恋ごころ	根本正辰	平中平窪
有限会社平電子 印刷所賞	緑 陰	鈴木当志子	久之浜町田之網
椿屋賞	ある風景-01(西欧の思い出)	伊藤集三	平下神谷
〃	2 0 0 1	近内賢寿	明治団地
〃	もものせっく	小野重治	金山町
昭文堂賞	風 魂	吉田勉子	四倉町上仁井田
〃	21 Century	石井トモイ	小名浜玉川町
株式会社 坂本紙店賞	書 法	田辺恭臣	平
画廊喫茶モナミ賞	2000年8月1日 8:04 14号 いわき	吉田重信	平下荒川
金澤内装 ギャラリー賞	失われゆく風景	浜田正弘	高倉町
ギャラリー磐城賞	2001・MENU	舟生コオ	勿来町
常光サービス 株式会社賞	秋桜がある風景	鈴木麻美	小名浜大原
大黒屋アート ギャラリー賞	あ る 風 景	馬目晴夫	平下神谷
ギャラリー創芸工房賞	猫記 パート4	高野正子	勿来町
いわき市立美術館長賞	のこされた風景	吉田昭男	錦町

☆いわき市立美術館長賞は、無鑑査作品を対象に美術館長が審査し決定します。

## 審査を終えて

審査の日は、二月の初旬だというのに、太平洋に向かって広がる、ここいわきの街とその周辺は、明るく晴れていました。その空の下で出品作群を何か特別な、新鮮な想いで観せて頂けたことは、私にとって大変幸福なことでした。

一般応募作品は、歴史のある市美展だけにさすがに様々な傾向のものがあり、特に絵画は、バラエティーに富んでいたのが印象的。従って、可能な限り多様なスタイルの中から、表現様式の異なったものを選ぶよう努めました。また、授賞選考では、上位になるほど優劣をつけ難く苦慮しましたが、あえて今回は、作品としての造型性、構築力の如何を評価の主なる条件として、迷う自らを納得させながら進めました。

最高賞／馬目晴夫氏の「ある風景」は、総体的には抑制の利いた色調で地味ですが、構成力がある秀作。快い旋律をもったハーモニーを感じました。マチュールの単調な点が少し惜しまれますが……。市議会議員賞／鈴木当志子氏の「首里若夏」は、作者が永らくテーマとして描き続けて来た沖縄の風土やそこに生きる人々の連作だと思えますが、手馴れた繰り返しに陥らずに、動きのある構成や細部の描き込みに新たな工夫がみられて注目しました。教育長賞／安藤栄作氏の「風の梯子」は、観た瞬間、作者の想う「天上への一途な希求」の様なものを感じました。手斧で彫り上げて天に昇る情念が、野太い美意識と共に伝わって来ます。

今回、賞を逸した作品にも秀作で胸に残るものが何点かありました。審査に当たった者にとって苦い記憶となりましたが、次なる展開を切に期待して結びいたします。

2002年2月8日

審査員 西村 榮 悟

(二紀会委員・福島県美術協会常任幹事)

## 第31回

## 絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	ある風景	馬目晴夫	平下神谷
いわき市議会議員賞	首里若夏	鈴木当志子	久之浜町田之網
いわき市教育委員会 教育長賞	風の梯子	安藤栄作	田人町南大平
《佳 作》			
いわき商工会議所 会 頭 賞	群れ 人のいる風景	米倉昭一	好間町上好間
いわき市文化団体 連絡協議会会長賞	玄 黄 記	吉田成寿	平
福島県報徳社賞	大下 図 の 前 で (2001年夏の共同制作)	源 哲 雄	好間町下好間
〃	浅 春	片石妙子	江名
〃	望 郷	佐藤もと	常磐上湯長谷町
美術館友の会賞	ある風景-(四季)	伊藤集三	平下神谷
有限会社トーカイ賞	漁 港	今泉木主	錦町
株式会社箱崎美術 広告社賞	風 景	齋藤博英	常磐上湯長谷町
有限会社平電子 印刷所賞	芥子シリーズ「刻」	大内馥子	金山町
椿 屋 賞	夏 色 模 様	根本正辰	平中平窪
〃	Shiny wind VI	嶺崎茂子	小名浜岡小名
昭 文 堂 賞	気 色	渡辺光江	平馬目
〃	稜 線	高橋 求	小名浜玉川町
株式会社 坂本紙店賞	〇	鈴 忠 壽	鹿島町走熊
画廊喫茶モナミ賞	赤唐辛子と Violin	猪狩ひろ子	四倉町大森
金澤内装 ギャラリー賞	「翔」はばたき	須田留一	四倉町上仁井田
ギャラリー磐城賞	野 火	安部國雄	小名浜玉川町
常光サービス 株式会社賞	9. 11	近内賢寿	明治団地
ギャラリー創芸工房賞	あーていふいしゃる せれくしょん	小野重治	金山町
いわきビル設備管理 センター株式会社賞	追想(廃校を訪ねて)	濱田正弘	高倉町
いわき市立美術館長賞	遠 い 空	安齊重夫	桜ヶ丘

☆いわき市立美術館長賞は、無鑑査作品を対象に美術館長が審査し決定します。

## 審査を終えて

審査の依頼を受けたのは、昨年(2002)の10月中頃かと思います。私は、日本とアメリカ、メキシコで作家活動をしておりますのでスケジュールに照らし合わせて、11月初旬に審査の依頼の件、OKすることにしました。私にとって、いわき市は思い出の深い街で、日本でもトップクラスの contemporanea ARTES の美術館がある素晴らしい街で、市民の皆様の作品を見せて頂ける事は、大変光栄に思いました。

電車に乗り、水戸、日立、勿来、泉に近づくにつれ心がわくわくし、東北の湘南と言われているいわき市に入った時は、なんともいえない緊張感を感じた次第です。

市美術展に一般応募された皆様の作品を見ますと、プロの作家を多く出す歴史のある風土になりつつある街に思いました。

現代美術館がある風土的な環境の街で創作活動なさっている一般市民の応募者の作品を一つ一つ拝見させて戴くと、個性的で創造性豊かで、オリジナリティ溢れる作品が多くバラエティに富んでいたのが印象的でした。

市長賞の「風のはしご」安藤栄作氏の作品は、地から宇宙空間に現代人のなんらかのメッセージを届ける素晴らしい想像的、表現的な美しい作品でした。

市議会議長賞の「月に咲く花」滑川けい氏の作品は、宇宙空間にロマンを感じさせる生命力の美しい作品でした。

教育長賞の「city life-vision」木村健治氏の作品は、総体的な空間の中で人間のライフワークスタイルの模様を表現しようとしていると感じました。

今回審査に当たった者にとって、レベルの高い作品も多くあり、次なる展開を切に期待したいと思います。

2003年2月5日

審査員 劔 持 忠

(メキシコ芸術院会員)

## 第32回

## 絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	風のはしご	安藤 栄作	田人町南大平
いわき市議会議長賞	月に咲く花	滑川 けい	平下平窪
いわき市教育委員会 教育長賞	city life - vision	木村 健治	石森
《佳 作》			
いわき商工会議所 会 頭 賞	青 の 追 憶	廣 川 則 子	平中神谷
いわき市文化団体 連絡協議会会長賞	環 - 2003	佐々木 寿子	錦町
福島県報徳社賞	歴	芳賀 智子	平上荒川
〃	ある日突然	吉成 史子	山田町
〃	ま ち	古川 美雪	平
美術館友の会賞	誕 生	古川 貴代美	植田町
有限会社トーカイ賞	陽のあたる公園	湖月 健太郎	久之浜町田之網
株式会社箱崎美術 広告社賞	遙 かな 刻	榎 栄子	日立市相田町
有限会社平電子 印刷所賞	環	鈴 忠 壽	鹿島町走熊
椿 屋 賞	樹 隠	荒川 信子	平
〃	翼は風に触れて	鈴木 博之	平下平窪
昭 文 堂 賞	在ること	鈴木 修	常磐水野谷町
〃	玄 黄 記	吉田 成寿	平
株式会社 坂本紙店賞	芥子シリーズ“刻”	大内 馥子	金山町
画廊喫茶モナミ賞	青の残像(ひっこみじあん)	高野 正子	勿来町
金澤内装 ギャラリー賞	ある風景	馬目 晴夫	平下神谷
ギャラリー磐城賞	神 の 目	大津 和明	佐糠町
ギャラリー創芸工房賞	わんわん!!	吉田 重信	平下荒川
いわき市立美術館長賞	陽に映えて	宮田 英子	平

☆いわき市立美術館長賞は、無鑑査作品を対象に美術館長が審査し決定します。

## 審査を終えて

全国各地の地方都市において県展、市展は花盛りであるが、その審査に当って地域とは無縁の審査員を呼ぶ例はあまり多くない。公募団体をはじめとして、我が国の美術界には人間関係だけで美術活動を展開する例が多く、肝心の作品の質や批評精神は置き去りにされやすい。その点、「いわき市民美術展」の公募作品審査には毎年異なった審査員を外部から招いてこれを行うと聞いて好感を持った。

今年は例年に比べて応募点数がやや下回ったと聞いたが、それでも約180点が審査会場に並んだ。展示面積の関係で、先ず25点を選外とし、続いて受賞作品となる21点を選ぶ作業に入った。その為の賞候補作品を33点選び出し、改めて見直したが、この段階の作品はまことにバラエティに富み、且つ技術的に高いものを持ち、このまま全国レベルの公募展に出しても入選は間違いないと思われた。ここで21点にしばり込むのに少し時間がかかったが、最終的にベストスリーは次の3名に決定した。

### 1位 野崎 静子「過ぎ去りし思い出」

外国の都市風景を背景に作者の追憶する姿を作品化したものだが、追憶される対象が見えない分、見る者の想像力が主人公の表情に向かって働く。確かな技術と安定した構図から、静かな表情をもつこの作品は見飽きることのない秀作である。

### 2位 鈴 忠壽「●」

今回の出品作品には抽象作品が少なかったが、その中において圧倒的な存在感を示したのがこれであった。半立体状になった表面には、黒い木製の球体が埋め込まれ、軽快なリズム感を持って上方へ延びている。物質感がほどよく強調されながらも、画面は決して重くならず心地よい爽快感に満たされている。

### 3位 鈴木 儀一「時の流れ- '04」

芸術家は、「時間」と「空間」と「人間」が3大テーマと言われているが、作者は機械文明の中で役割を終えた工業製品の末路を見せることによって、そこに過ぎ去った歴史を語ろうとしている。構図といい、色彩感覚といい充分な力を持った作家であると見受けられた。

受賞作品として順序をつける必要があったが、作品の実力は上位10位ぐらいまでは伯仲していて甲乙つけ難いのが実情であった。

上記の3点のほか、版画やドローイングにたいへん良質のものがあったことが印象に残った。また、今回下位にはなったが、若林喜代子作「秋の譜」、桐生良勝作「イタリアの風」、大内馥子作「芥子シリーズ『夏至』」、安部國雄作「さきふれ」、柳内佰子作「落日」などは今後も更なる成長が期待される。

2004年2月4日

審査員 金 澤 毅

(美術評論家/横浜市在住)

## 第33回

## 絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	過ぎ去りし思い出	野崎 静子	平
いわき市議会議長賞	●	鈴 忠壽	鹿島町走熊
いわき市教育委員会 教育長賞	時の流れ- '04	鈴木 儀一	中央台
《佳 作》			
いわき商工会議所 会 頭 賞	映	大 川 浩	三沢町
いわき市文化団体 連絡協議会会長賞	「COSMIC RAY」宇宙光線	須 田 留 一	四倉町上仁井田
福島県報徳社賞	振り返った時に見た風景	湖 月 健太郎	久之浜町田之網
〃	秋 の 譜	若 林 喜代子	植田町
〃	空 ノ カ ガ ミ	高 野 正 晃	勿来町
美術館友の会賞	パーカーの少女	根 本 正 辰	平中平窪
有限会社トーカイ賞	イタリアの風	桐 生 良 勝	石森
株式会社箱崎美術 広告社賞	工場のある風景	工 藤 敏 博	泉町
有限会社平電子 印刷所賞	港 の 風 景	今 泉 木 主	錦町
椿 屋 賞	実 り の 季	藁 谷 陽 子	小名浜
〃	仏具山より望む	加 瀬 悦 郎	錦町
昭 文 堂 賞	芥子シリーズ「夏至」	大 内 馥 子	金山町
〃	面	神 林 テル子	平下荒川
株 式 会 社 坂 本 紙 店 賞	作品-04(春景)	伊 藤 集 三	平下神谷
画廊喫茶モナミ賞	さ き ぶ れ	安 部 國 雄	小名浜玉川町
金 澤 内 装 ギャラリー賞	落 日	柳 内 佰 子	平
ギャラリー磐城賞	Flower	渡 辺 啓	四倉町
ギャラリー創芸工房賞	こうのとり配達まちがい	鈴 木 牧 子	中央台
いわき市立美術館長賞	YACHT-04-1	鈴 木 邦 夫	平
T S C 青少年奨励賞	該当者なし		

☆いわき市立美術館長賞は、無鑑査作品を対象に美術館長が審査し決定します。

TSC青少年奨励賞は、平サロン倶楽部のいわきの美術を志す青少年育成の趣旨に基づき25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与されます。

## 審査を終えて

美術館はいわば美の回廊です。朝から 181 点の作品を何度も何度もみて巡りました。表情が豊かで、誰にも似ていない作品に出逢う時、楽しい気分になります。

中でも鈴木博之「翼は風に触れてⅢ」は色彩と構成が、ハーモニーをかもしだしていて生彩を放っています。

若林喜代子「秋の譜」は不思議な絵です。植物のスタティックな生命力が伝わってきます。じっとみつめていたい作品です。

根本唯「招待状Ⅰ」は、喜びが全体にあふれていて、どこかアンバランスさがありますが、17歳の作者のこれからが強く期待出来ます。描きこまれたディテールが美しい。

他に安藤栄作「空気の生まれるところ」は、あっさりとは描かれていますが構築の確かさが見え隠れします。

小野重治「駐車場」は、黒白の雨上りの都会がダイナミックです。人が建物に負けなように。

家並みが見渡せる上野邦彦「街の表情」も楽しい作品です。点景にもうひとつ描きこみがあれば、生活も表現出来そうです。

田辺恭臣「伝承の発生する場所」は大作で、色調に抑制があればもっと強い作品になるかと思いました。

渡邊清子「翼をください」は、奔放さに思わずみとれました。絵はこんな風にも描けると思ったのです。

菅野征市「灼い封印」や緒方重治「自画像」は描く誠実さが心に残ります。

1点1点それぞれが語りかけをしていて、本当は全作品について書いてみたくなります。

この展覧会がきっかけとなって、いわき市立美術館に市民による美の回廊が築かれていくことを願っています。

2005年2月5日

審査員 藪野 健  
(画家、二紀会理事)

## 第34回

## 絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	振り返った時に見た風景('05)	湖 月 健太郎	久之浜町田之網
いわき市議会議長賞	05 秋 の 譜	若 林 喜代子	植田町
いわき市教育委員会 教育長賞	招 待 状 I	根 本 唯	三沢町
《佳 作》			
いわき商工会議所 会 頭 賞	翼は風に触れて Ⅲ	鈴 木 博 之	平下平窪
いわき市文化団体 連絡協議会会長賞	空気の生まれるところ	安 藤 栄 作	田人町南大平
福島県報徳社賞	街 の 表 情	上 野 邦 彦	金山町
〃	駐 車 場	小 野 重 治	金山町
〃	道	根 本 裕 之	平泉崎
美術館友の会賞	〈灼い封印〉 アウシュヴィツ、ビルケナウ、南京、ナガサキ	菅 野 征 市	小川町上小川
有限会社トーカイ賞	土 の 民 I	松 崎 博	福島市松川町関谷
株式会社箱崎美術 広告社賞	伝承の発生する場所	田 辺 恭 臣	平
有限会社平電子 印刷所賞	しん 皴	吉 村 功	鹿島町久保
椿 屋 賞	COSMIC SPIRAL	須 田 留 一	四倉町上仁井田
〃	休 日 の 午 後	平 子 貞 男	小川町上小川
昭 文 堂 賞	風 韻	馬 目 晴 夫	平下神谷
〃	時 の 流 れ - '05	鈴 木 儀 一	中央台
株 式 会 社 坂 本 紙 店 賞	自 画 像	緒 方 重 治	久之浜町
画廊喫茶モナミ賞	玄 黄 記	吉 田 成 寿	平
ギャラリー磐城賞	翼をください	渡 邊 清 子	平
ギャラリー創芸工房賞	Flower	渡 辺 啓	四倉町
いわき市立美術館長賞	パ ン ゲ ア	石 川 進	平上片寄
T S C 青少年奨励賞	招 待 状 I	根 本 唯	三沢町
	土 の 民 I	松 崎 博	福島市松川町関谷

☆いわき市立美術館長賞は、無鑑査作品を対象に美術館長が審査し、決定します。

TSC 青少年奨励賞は、平サロン倶楽部のいわきの美術を志す青少年育成の趣旨に基づき 25 歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与されます。

## 審査を終えて

いわき市の美術を総じて好印象をもって眺めた。あらわしたいモチーフやイメージがストレートに出ている作品が多い。それがまず好感のもてる点だ。高額賞金を競う「公募展」と異なり、みずからの価値観や身の回りの生活実感が素直に表現されているからおそらくこのような好印象を与える結果に結びついていくのだろう。

この展覧会も「公募展」には違いない。しかし多くの「公募展」が権威や名誉や賞金による一種の「抑圧」や「規制」を強いるのに対し、いわきの「市民美術展」はそれらから解放された「自由」な雰囲気によって成り立っている。

表現の傾向もまた「自由」だ。いかにも熟練した（しかしモチーフとしては少々固まりすぎの）表現も見られれば、初々しい10代の若い人たちの作品も見られる。驚いたことに市長賞の木村健治氏は86歳である。その作品「夜明け」は年齢を聞くまでは20～30代の方の描いたものとばかり思っていた。夜明けの白んだ東の空を、ブルーのわずかな階調の変化でまとめあげた。骨格の大きい、しかし色彩の微妙な変化に対する感覚の緻密さが作品を魅力的なものにしている。

議長賞になった高野正晃氏の「明るい闇」は、マッシヴ（量感）な要素をとり入れつつ、それをインスタレーション空間に転じる方向に新鮮味を覚えた。さらにヒルデブランド的な視覚の意識によって、個と群像の関係を現代社会に生きる複雑な人間模様置き換えるイメージまで盛り込んだようにも見えて興味深かった。

教育長賞を受賞した佐藤もと氏の「明日へ」は、木村健治氏と同様の若いフレッシュな力を感じた。ダイナミックでさわやかな筆づかいは、制作というものは自分のモチベーションさえあれば、日々あらたなイメージで展開されていく、あるいは作品は技術を超えた何かに常に発しているという裏づけのようなものを感じさせた。

全体的に以上の賞以外の佳作にも優れた作品が多かった。佳作の多くに60代以上の高齢者の作品が見られたのも他地域に比較していわきの特徴かもしれない。しかもそれが若い人たち以上に実験意欲旺盛で、それまでの自分の表現の型を継承することにこだわらない新鮮な取り組みは、敬服に値するものである。また10代と80代90代の表現者たちが共存する展覧会は、従来の美術展のあり方に反省を迫るものであるといえるのかも知れない。

2006年2月11日

審査員 谷 新

(美術評論家・宇都宮美術館館長)

## 第35回 絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	夜 明 け	木 村 健 治	石 森
いわき市議会議長賞	明 る い 闇	高 野 正 晃	勿 来 町
いわき市教育委員会 教 育 長 賞	明 日 へ	佐 藤 も と	常 磐 上 湯 長 谷 町
《佳 作》			
いわき商工会議所 会 頭 賞	●	鈴 忠 壽	鹿 島 町 走 熊
いわき市文化協会会長賞	想 い	竹 田 君 枝	金 山 町
福島県報徳社賞	愛	近 内 賢 寿	明 治 団 地
〃	眩 暈 II	山 本 伸 樹	田 人 町 旅 人
〃	聖 老 人	照 沼 主	泉 町
美術館友の会賞	古 の 記 憶	吉 田 浩 二	内 郷 御 台 境 町
有限会社トーカイ賞	風 韻	馬 目 晴 夫	平 下 神 谷
株式会社箱崎美術 広 告 社 賞	春 信	小 井 戸 雅 典	常 磐 松 が 台
有限会社平電子 有 限 会 社 賞	合 戦	谷 津 健 二	錦 町
椿 屋 賞	静かに降る雪は積もる	小 松 俊 介	内 郷 白 水 町
〃	自 然 回 帰	小 野 忠 男	勿 来 町
昭 文 堂 賞	玄 黄 記	吉 田 成 寿	平
〃	空 中 無 色	木 田 道 也	泉 ヶ 丘
株 式 会 社 坂 本 紙 店 賞	白 い 青	鈴 木 は る か	勿 来 町
画廊喫茶モナミ賞	はくもくれんによる	小 野 重 治	金 山 町
ギャラリー磐城賞	光 を 信 じ て	斎 藤 成 未	沼 部 町
ギャラリー創芸工房賞	西 風 が 吹 いて	古 川 美 雪	平
青少年賞（アート スペース エリコーナ賞）	金 魚 の 春	蛭 田 早 智	沼 部 町
いわき市立美術館長賞	SPRING WIND	湖 月 健 太 郎	久 之 浜 町 田 之 網
T S C 青 少 年 奨 励 賞	静かに降る雪は積もる	小 松 俊 介	内 郷 白 水 町
〃	光 を 信 じ て	斎 藤 成 未	沼 部 町

☆いわき市立美術館長賞は、無鑑査作品を対象に美術館長が審査し、決定します。

TSC 青少年奨励賞は、平サロン倶楽部のいわき美術を志す青少年育成の趣旨に基づき25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与されます。青少年賞は、20歳未満の出品者が対象となります。

# 空間の温度

審査は対話だと思っている。だが、今回のいわき市美展の会場に来て驚いたのは、「絵画・彫塑の部」という言葉を越えた「平面・立体作品群」が百八十点、私を待っていたことだった。様々なジャンル、技法、素材、カテゴリーそして、成熟・未熟といった力量の違いまでもが、一堂となって並べられていた。これは私達が生きている現代社会そのものだということに気がつく。そして、これらの作品と対話する言語は複雑になってきて当然だと感じると、私の視点が問われることになる審査の恐さを身に沁みながら、一点ずつの作品と対話をはじめたのだった。

でも、この豊かなヴァリエティこそが、市民美術展の楽しさであり、美術に対する愛情が存在する展覧会だと思いついてからは、私自身があらゆるジャンルをワープする宇宙船になり、対話はずんでいった。たくさんの言葉をかわしながら多様な社会を組み立てるのが受賞作品を決定する行為だった。

まずは、表現したい世界観に独自性があること。そしてその哲学を具現化する技法とのバランスを見てゆく。平面作品なら、ここに豊かな空間が動いているはずだ。また立体作品なら、その作品を取り囲む空間が震えているに違いないのである。そしてその空間に温度を感じたものを今回の受賞作品に決定した。

いわき市長賞の小野忠男さんの作品「3月の6日頃に-07」は、まず色彩の豊かさに圧倒された。モチーフの昆虫の形のぎこちなさがミステリアスだ。近寄ると、この不思議な空間を創り出したのが、キャンバスに絵の具を塗る筆致の重なりと同時に、表面を削り取る技法のバランスにあることに気がつく。このような制作のプロセスが、一つの空間を創り出すという現場に立ち合ったようで、とても新鮮な平面だと思った。

いわき市議会議員賞の小野重治さんの「おおきなこども」は、スーパーリアリズムの技法で子供が描かれている。この作品も技法の完成度とモチーフのバランスが良い。何よりも逆光で描かれた子供の薄い皮膚から透ける太陽の存在が、あたたかく感じた。

いわき市教育委員会教育長賞のワキサカヨーコさんの立体作品「月がでている」は、紙を素材にして人体を制作した動機を考えると、モチーフの女性のポーズからその目の先にある月の存在を教えてくれる詩的な表現がしたかったことに気がつく。この作品も技法と素材とモチーフのバランスがとれていて気持ちやすくなる。

作品は、何をもって完成とするのだろうか。その度数の高さは、もはやテクニックにのみ存在しないことを私達は知っている。とすれば、今回の受賞作の中に見える、動機・技法・モチーフ・空間のバランスに個性を見出した時に、一つの完成を見つけることが出来ることが改めてわかった。

審査という素晴らしい機会を与えて下さったことで、私もまた自分探しが出来たことに感謝している。

2007年1月17日

審査員 山本 容子  
(版画家)

## 第36回

## 絵画・彫塑の部 入賞者

賞名	題名	氏名	住所
いわき市長賞	3月の6日頃に-07	小野 忠 男	勿来町
いわき市議会議員賞	おおきなこども	小野 重 治	金山町
いわき市教育委員会教育長賞	月がでている	ワキサカヨーコ	勿来町
《佳 作》			
いわき商工会議所賞	天女の舞	三 代 昇	内郷御台境町
いわき市文化協会会長賞	黄色い T-shirts	木 村 啓 太	田人町荷路夫
福島県報徳社賞	水のある風景	杉 本 正 春	内郷高坂町
〃	もによもよの月	箱 崎 り え	岩間町
〃	ひとつの花	横 栄 子	茨城県日立市相田町
美術館友の会賞	Flickering Snow	嶺 崎 茂 子	小名浜岡小名
有限会社トーカイ賞	くりかえす日常 積み重なる記憶	山 本 伸 樹	田人町旅人
株式会社箱崎美術 広告社賞	花 の 乱	高 橋 ノブ子	平四ツ波
有限会社平電子 印刷所賞	ある風景-07-B	伊 藤 集 三	平下神谷
椿 屋 賞	Flower	渡 辺 啓	四倉町
〃	WAVE21 Ver. IV	藤 於 環	平中平窪
昭 文 堂 賞	ま ち	古 川 美 雪	平
〃	DREAM I	須 田 留 一	四倉町上仁井田
画廊喫茶モナミ賞	明日の予感	平 子 貞 男	小川町上小川
ギャラリー磐城賞	証 '07-A	渡 辺 良 春	東田町
ギャラリー創芸工房賞	群-ひとのかたち	根 本 裕 之	平泉崎
《特 別 賞》			
青少年(アートスペース エリコーナ)賞	沈 静	蛭 田 博 行	沼部町
青少年(ギャラリーわづくりや)賞	光る青春の喜び	岡 田 昌 之	平赤井
TSC 青少年奨励賞	該 当 者 な し		
いわき市立美術館長賞	刻	渡 辺 文 雄	小名浜玉川町

☆いわき市立美術館長賞は、無鑑査作品を対象に美術館長が審査し、決定します。

TSC 青少年奨励賞は、平サロン倶楽部のいわきの美術を志す青少年育成の趣旨に基づき25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与されます。

青少年賞は、20歳未満の出品者が対象となります。